

立川市の将来像

【にぎわいとやすらぎの交流都市 立川】

立川市の目指す子どもの姿

- 「知」「徳」「体」の調和のとれた力を備えた子ども
- 生涯にわたって自己を高めようと努力する子ども
- まちを知り、まちに愛着をもち、まちの良さを受け継ぐ子ども
- まちや社会と主体的に関わり、貢献しようとする子ども

立川市の重点課題

- ◆学力向上・体力向上 ◆特別支援教育の充実 ◆小中連携
- 重点事項への取組 ◆働き方改革の推進 ■学校運営協議会と連携し、コミュニティ・スクールとしてネットワーク型の学校経営を推進 ■立川市民科公開講座の開催 ■カリキュラムマネジメントへの取組

立川第二中学校 教育目標

社会の変化に主体的に対応できる豊かな心を持ち、たくましく生きる人間を目指して以下の目標を設定する。

- 進んで学ぼう
- ◎思いやりの心をもとう
- 理想の実現に努めよう

【教育基本法 第2条第1号】幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。（知・徳・体のバランス）

【学習指導要領】（現行）

- ・教育基本法改正等で明確となった教育の理念を踏まえ、「生きる力」を育成する
- ・知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視する
- ・道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成する

【学校教育法 第30条第2項】【学力】①基礎的・基本的な知識・技能の習得 ②思考力・判断力・表現力その他の能力の育成 ③主体的に学習に取り組む態度の育成

目指す学校像

- ① 生徒一人ひとりが輝く学校
- ② 保護者、地域から信頼される学校
- ③ 居心地のよい・あたたかい学校

目指す生徒像

- ① 他人のためにほたらく生徒・・・貢献
- ② 絶えず高め合う生徒・・・感謝
- ③ 主体的に学ぶ生徒・・・挑戦

目指す教職員像 【★補足下欄】

- ・情熱がある教職員
- ・愛情がある教職員
- ・先見性がある教職員

教育活動の目標と方策

《今年度の重点》・社会の変化に主体的に対応できる豊かな心を持ち、思いやりの心を持ち、たくましく生きる人間を目指し、教育活動全体を通して道徳教育の充実をはかる。以下を教科横断的な視点で取り組む。

【確かな力】

- ① 主体的・対話的で深い学びを促す授業の工夫に努める。
 - ・ICT 機器を活用した授業を積極的に取り入れる。
- ② 思考力・判断力・表現力等の育成に努める。
 - ・各学力調査や東京ベーシックドリル等による PDCA サイクルを基に授業改善や読書活動を充実させる。
 - ・思考力を高めるための質問の仕方を工夫する。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度の育成に努める。
 - ・質問教室や学修クラブと連携した補習教室等の充実を図る。

【やさしい心】

- ① 道徳科の授業改善（考え、議論する道徳）に努める。
 - ・道徳科と立川市民科の取組を関連させ、感謝、貢献をする心を育成させる。
- ② 規律ある学校生活の重視
 - ・生徒会活動を核に地域清掃やあいさつ運動を推進する。また、いじめ問題の未然防止や自分の命、他人の命を尊重する教育を推進させる。
- ③ 支援が必要な生徒への理解を深め特別支援教育を推進させる。
 - ・プラスの教員と連携し、関係諸機関との連携を図る。
- ④ 感謝の言葉「ありがとう」を言葉に出して伝えていく心を育成させる。

【個を輝かせ】

- ① 個に応じた課題に取り組み、更なる資質・能力の向上を目指す。
 - ・一人一台タブレットの活用により、個に応じた課題に取り組む。
 - ・Q-U等を活用して生徒理解に努める。
- ② キャリア教育の一層の推進を図る。
 - ・工夫された御指導の充実を図る。
 - ・オリ・パラ教育の継続・立川夢未来ノートの活用
 - ピアサポート、環境学習、福祉学習、国際理解学習他、交流教育等、体験活動を多く取り入れながら推進する。
- ③ 生徒自身が自ら考え、自治活動を推進させる取組ができるように支援する。

体力の向上

- ◆「持久力」の向上を目指す。
 - ・立川スタンダード20～体育・保健体育編を活用し、「持久走」の機会を積極的に取り入れる。
 - ・東京都統一体力テストの分析を活用や食育を推進する。

研究・研修の推進と充実

- ◇立川市教育委員会「市民科教育の推進」を目指す
 - ・道徳教育の充実を校内研究会で取り組み
 - 学級通信や教科通信の発行を推進する。
 - ・道徳科の授業実践を通して「主体的・対話的で深い学び」を深めるための授業実践を行う。
 - ・立川市民科公開講座を開催する。

小中連携教育の推進と充実

- ◆校区連絡会等を中心に、9年間の学びの連続性のさらなる充実を図る。
 - ・小中連携・外国語活動の推進。
 - ・地域清掃活動、あいさつ運動、二中紹介、部活動体験の推進と充実、選択交流授業を実施する。
- ◆「立川市民科」との内容連携を推進する。
 - ・小学校で、中学生の美術書道等の作品の展示への協力をよびかける。

市民力の活用

- （ネットワーク型の学校経営の充実）
 - ① 職場体験（2年）の推進と充実。
 - ② 同窓会との連携。
 - ③ 外部指導員等による部活動への支援。
 - ④ 学習支援等の地域人材の活用。

【目指す教師像】自身の五つの資質を高める教師

「教育は人なり」⇒「人助」

- ① 授業改善の推進：教員一人年2回の研究授業の実施（ICTを活用した研究授業1回）
- ② 学び続ける教師：立中教研以外での研修会への参加（最低年1回）
- ③ 創意工夫する教師：前例主義は後退。教材・教具の工夫、学校組織の活性化、働き方改革
- ④ 特別支援教育の理解・推進：ユニバーサルデザインを意識した授業、教室環境の改善
- ⑤ わが子を通わせたいと思う学校づくり、初心を忘れずに前向きに取り組む姿勢

【教員の人材育成についての方針】 常に学び続け、組織の一員としての自覚を高める。

★教員が身に付けるべき力

【学習指導力】【生活指導力・進路指導力】【外部との連携・折衝力】【学校運営力・組織貢献力】

- ・OJTを確実にを行うための役割分担の明確
- ・教員の自己申告書をもとにした目標の設定、具体的な実践
- ・保護者、生徒、学校運営協議会委員からの「学校評価」に基づいた改善策の検討、提示
- ・教科通信や学年、学級便り等で生徒の変化、指導の経過なりを「かたち」にして発信
- ・コミュニケーション力、傾聴力、忍耐力、やさしさと厳しさ、使命感、創造性等